

子どもの生活に関する実態調査について

■令和5年度調査概要

○目的

第三次子どもの貧困対策計画（R7～5カ年）策定の参考とするため、子どもの生活実態、学習環境や保護者を含めた支援ニーズ等を把握する。

○調査内容

別紙のとおり

○調査対象（共同実施市町村の地域を除く府全域）

- ・小学5年生の子ども及び保護者≪4,000世帯（8,000人）≫
 - ・中学2年生の子ども及び保護者≪4,000世帯（8,000人）≫
- ※住基台帳から無作為抽出

【市町村との共同実施について】

- ・共同実施意向の市町村においては、府と同様の調査項目を設定し、各市町村域にかかる調査を実施
- ・府においては、上記以外の市町村域について調査を実施した上で、共同実施市町村分も含めた府全域について、集計・分析を実施（市町村別の集計は行わない予定）

○調査スケジュール（予定）

- ・令和5年7月頃 調査実施
- ・令和6年3月 調査結果公表

○共同実施団体

実施予定【18自治体】

大阪市、豊中市、池田市、守口市、枚方市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、和泉市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、能勢町

子どもの生活に関する実態調査について(調査手法)

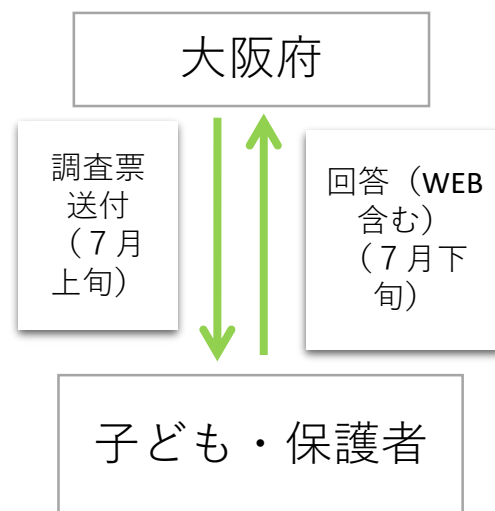
子どもの生活に関する実態調査については、調査結果の精度を上げるためにより多くの情報を把握し、分析することが不可欠であり、また、必要となる対策を検証し、実施するにあたり、子どもやその家庭に身近な市町村が有する知見や手法及び情報等を共有することが有効であるため、調査を共同で行う。

大阪府

◆調査内容

共同実施市町村以外の市町村の住民基本台帳から無作為抽出による郵送調査

今回は、WEBフォームによる回答も可

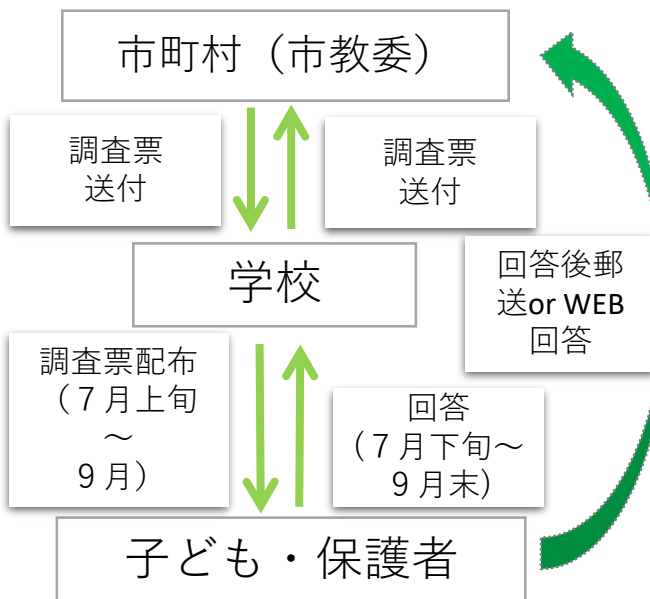


共同実施市町村(複数市が参加予定)

市町村においては、(1)又は(2)により実施

(1)調査内容

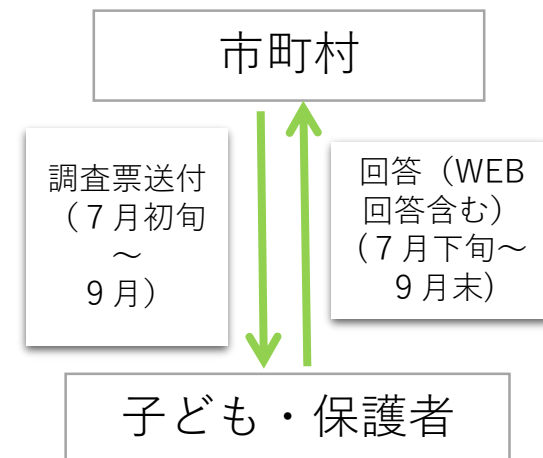
学校での配布・回収(郵送回収、WEB回答も可)による悉皆(又は抽出)調査



(2)調査内容

住民基本台帳から無作為抽出による郵送調査

配布世帯数は市町村による



府実態調査

府及び共同実施市町村の調査結果を合算し、分析

【府が公表するもの】府全域にかかる集計結果、府全域にかかる分析結果

子どもの生活に関する実態調査について

■調査内容案(子ども)

H28調査項目ベースとし、国の調査票様式例の一部（学習環境、居場所の具体的な利用希望等）及び新規項目（ヤングケアラー、学校生活、回復力等）を追加

【子ども】

設問について ・() 囲み数字…H28調査項目番号
 ・○ 囲み数字…国調査項目番号
 ・★…新規追加項目

| 分野 | 項目No | 設問 | 抽出できる課題 | 課題への対応(想定) |
|---------|-------|------------------------|--|---|
| 生活状況 | 2, 3 | (1~2)就寝時間の規則性 | ○欠食の状況 ○遅刻の状況と生活状況の相関関係 | ○食事等生活への支援 ○遅刻の多い子どもへの支援 |
| | 4~9 | (5~7)食事の頻度(朝食・夕食・長期休暇) | | |
| | 10 | (9)学校への遅刻の頻度 | | |
| | 11~20 | (10)家族との関わり | | |
| | 21 | (11)楽しい場面 | | |
| | 29 | ★(独自)学校生活について | | |
| 学習 | 24 | ★②学校の授業以外の勉強方法 | ○困窮度による、学習環境・理解度・進学希望の違い ○勉強方法による理解度や進学希望の違い ○学習支援が必要となる時期 | ○子どもの状況に応じた学習支援の実施・充実 ○進学にかかる支援制度の周知 |
| | 25 | (14)学校の授業以外の勉強時間 | | |
| | 26 | (15)学校の授業の理解度 | | |
| | 27 | ★⑥授業がわからないと感じ始めた時期 | | |
| | 28 | (16)読書習慣 | | |
| | 39 | (24)将来の進学希望(高校、大学等) | | |
| 悩みごとの相談 | 30 | (18)悩みの有無、内容 | ○相談方法のニーズ | ○ニーズに応じた相談方法の設定 |
| | 31 | (19)相談相手・方法 | | |

子どもの生活に関する実態調査について

■調査内容案(子ども)

| 分野 | 項目No | 設問 | 抽出できる課題 | 課題への対応(想定) |
|---------|------------------------------|---|--|---|
| 心身の状態 | 32, 33 36~38 35 | (21)心と体の状態 (23)自己肯定感 ★(独自)回復力 | ○困窮度による自己肯定感の違い | |
| 剥奪指標 | 34 | (22)持っている・使うことができるもの | ○物質的剥奪状況、困窮度による違い | ○子どもの生活や将来に向けて必要な物的支援 |
| 放課後・居場所 | 22 23 40 41 42 | (12)放課後に一緒に過ごす相手 (13)放課後に過ごす場所 ★⑱居場所等の利用経験・利用希望 ★⑲居場所等の利用による変化 ★(独自)居場所を利用しない理由 | ○孤立の状況 ○困窮度による放課後の過ごし方の違い ○居場所の利用ニーズ | ○子どもの居場所づくりの充実・地域の居場所の周知 |
| お世話の状況 | 43, 44 45, 46 47 48 | ★(独自)お世話をしている人の有無、対象者 ★(独自)「お世話」の内容、頻度 ★(独自)「お世話」の1日に占める時間 ★(独自)「お世話」をすることによる影響 | ○困窮状況と「家庭の仕事」の負担の割合を把握 | ○子どものウェルビーイングに向けての支援(経済(支援情報の提供)・生活・学習・体験活動の支援) |
| 基本事項 | 1 49 | (1)小学生、中学生の別 (25)性別① | | |

大問27問 小問含め49問

子どもの生活に関する実態調査について

■調査内容案(保護者)

H28調査項目をベースとし、国の調査票様式例の一部（婚姻状況、養育費等）及び新規項目（居場所の利用状況、新型コロナウイルス感染状況等）を追加

設問について ・() 囲み数字…H28調査項目番号
 ・○ 囲み数字…国調査項目番号
 ・★…新規追加項目

【保護者】

| 分野 | 項目No | 設問 | 抽出できる課題 | 課題への対応(想定) | | |
|-----------------|---------------------|---------------------------|------------------------|-----------------|------------------|-------------|
| 基本事項・親の状況・養育費受取 | 1 | (1)子どもとの続柄① | | | | |
| | 2 | ⑧日本語以外の言語の使用状況 | | | | |
| | 3 | ③家族構成・人数(単身赴任者を含む) | | | | |
| | 4 | ★⑥親の婚姻状況 | | | | |
| | 5 | ★⑦離婚の場合の養育費の取決・受取状況 | ○ひとり親世帯で養育費を受け取っていない割合 | ○養育費確保にかかる支援の充実 | | |
| | 6 | (4)住居の種類 | | | | |
| | 7, 8 | (6)家計の状況・貯蓄状況 | | | | |
| | 10 | (8)親の最終学歴 | | | | |
| | 21 | (19)親になった時の年齢 | | | | |
| 11 | (9)親の就労状況・就労していない理由 | | | | | |
| 子どもとの関わり・進学見通し | 12 | (10)家にいる時間帯 | | | | |
| | 14~18 | (14)遊び・読書・勉強等に関する子どもとの関わり | | | ○困窮度による進学見通し等の違い | ○学習支援の実施・充実 |
| | 19, 20 | (15・18)子どもの進学希望・進学状況 | | | | |

子どもの生活に関する実態調査について

■調査内容案(保護者)

| 分野 | 項目No | 設問 | 抽出できる課題 | 課題への対応(想定) |
|----------------|----------------|--|--------------------------|-----------------------------|
| 悩みごとの相談 | 22～29 30 | (20)子育て、重要事項の相談、金銭援助で頼れる人 (21)相談相手・方法 | ○相談方法、支援情報入手方法のニーズ | ○支援情報発信の充実 |
| 暮らし・経済状況 | 41 9 13 | (27)世帯の年間収入 (7)経済的な理由でできなかったこと (13)経済的な理由で子どもにできなかったこと | ○困窮による物質的剥奪・子どもの経験の欠如の状況 | ○生活や子どもの将来に向けて必要な物や体験にかかる支援 |
| 心身の状態 | 32～35 36 | (22)生活の楽しみ・将来への希望・ストレス等の有無 (23)心身の状態 | ○困窮度による心身への影響 | |
| 支援制度の利用状況等 | 37 31 | ㉗支援制度の利用状況、利用しない理由 (27)支援制度のニーズ | ○支援未利用の状況 ○支援制度のニーズ | ○支援制度の周知・支援につなぐ施策 |
| 居場所 | 38 39, 40 | ★(独自)居場所等の利用状況 ★(独自)居場所の利用理由、利用しない理由 | ○居場所の利用ニーズ | ○子どもの居場所づくりの充実・地域の居場所の周知 |
| 新型コロナウイルスの感染状況 | 42 43 44 | ★(独自)家族(子ども含む)の感染状況 ★(独自)同居家族の人数 ★(独自)家の間取り | ○困窮度によるコロナ感染の状況 | |

下線部…H28年調査においても類似項目あり。今回は国調査項目を採用

大問26問 小問含め全44問

子どもの生活に関する実態調査について

■H28調査において、R5調査から削除した項目

| 子ども | | |
|-----------|---------------------|-----------------------------|
| 分野 | H28年 No | 設問 |
| 睡眠時間 | 4 | 睡眠時間 |
| お風呂 | 8 | 入浴の頻度 |
| お小遣い | 17 | お小遣いの金額 |
| 大人との関わり | 20 | 家族にしてもらえること、誰にしてもらえるか |
| 身長・体重 | 26 | 身長、体重 |
| 自己効力感 | 23(3) (5) (6) | ・大人への信頼 ・将来への努力 ・就労意欲 |
| その他 | 27 | 自由記述 |
| 大人 | | |
| 分野 | H28年 No | 設問 |
| 家計の状況 | 6(2) | 家計が赤字の場合の対応 |
| 子どもの過ごす家族 | 11 | 子どもが放課後に過ごす時間が長い人 |
| 子どもの進学 | 16 | 希望通り進学できるか |
| | 17 | 希望通り進学できると「思わない」場合の理由 |
| その他 | 27 | 自由記述 |